

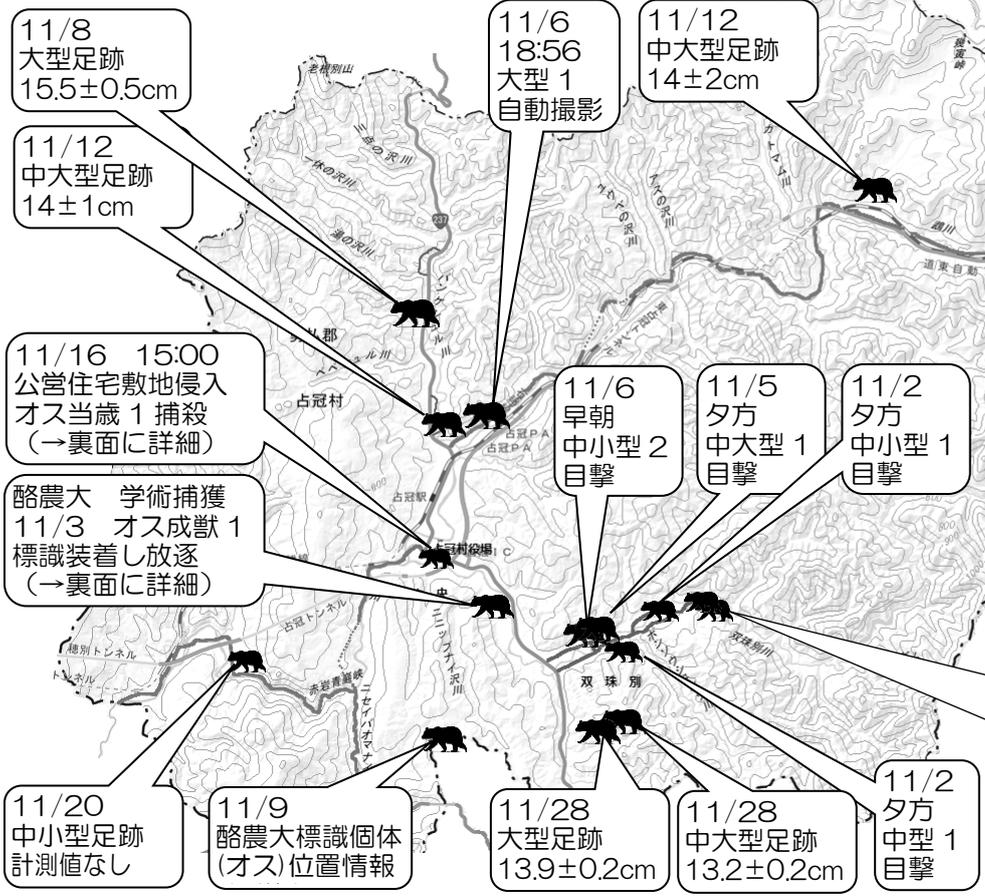
ヒグマについてのお知らせ

11月中も人里周辺でのヒグマ情報が相次ぎましたが、月末に向けて次第に下火となりました。今秋の特異的な頻発状況もようやく落ち着いてきたようですが、いましばらくは警戒を解かず、遭遇予防、誘引予防に努めてください。

例年初冬期は、浅い積雪に足跡が残りやすいため、林内での足跡発見が全体の情報件数を押し上げますが、今期はまださほどの傾向は見られていません。12月の情報件数を過去年と比較することで、冬眠開始の時期について何らかの知見が得られないかと考えています。



注) 情報の有無に係わらず、村内は、どこでもヒグマがいる可能性があります



- 次のような状況はすぐに対策が必要です。
- ☀ 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
 - ☀ 道路上や道路脇、農地に居座っている。
 - ☀ 人に気付いても逃げない。
 - ☀ 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
 - ☀ 持ち物を奪われた。
 - ☀ 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
 - ☀ 人や家畜、ペットが襲われた。
 - ☀ ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

すぐにお知らせください。
状況に応じ、注意喚起や立入制限、追い払いや捕獲等の対処をします。
占冠村役場 農林課
林業振興室 野生鳥獣担当
☎0167-56-2174
占冠駐在所
☎0167-56-2110

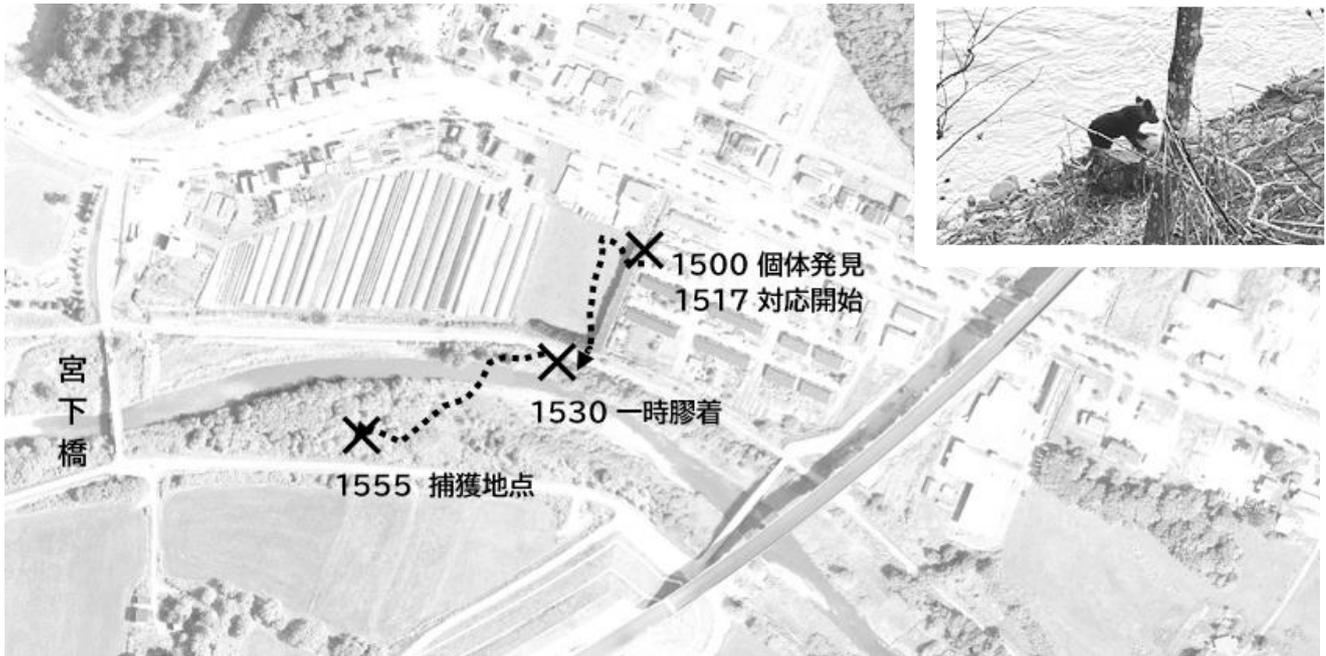
- 次のような状況では、静観できると考えられます。
- 山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
 - 山林内でヒグマの痕跡を見た。
 - 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った。

役場林業振興室に情報をお寄せください。生息状況の基礎データとして集積し、対策に活かしてまいります。

クマ撃退スプレー 正しい取り扱いで有効に

人身事故防止は「出会わないこと」が第一ですが、出会ってしまった時の対処も大切です。とりわけ攻撃的な急接近や、攻撃が起きたときは、カプサイシン入りのクマ撃退スプレーがご自身を守るかもしれません。製品仕様や品質等については製造者様、販売者様の説明書をご確認ください。一般的な用法などについては村の担当でもご相談に対応いたします。

topic 01 またも宮下！ 川添団地の敷地に侵入（11月16日）



11月16日の午後3時頃、字中央の川添団地の敷地内で小型のヒグマ1頭を発見した旨、お住まいの方から村役場にお電話をいただきました。直ちに職員が現場を確認したところ、ヒグマは逃げずに廃棄野菜を食べ続けていました。再発を防ぐためにも捕殺すべきと判断し、居座るヒグマを追い立てて住宅地から離れたのち、同日中に射殺しました。オスの0歳で、普通は母グマと一緒にいる齢ですが、何らかの理由でひとりになっていました。たいへん哀れなことですが、こうしたみなしごたちの生存は困難を極めているものと思われます。今秋は食べ物も乏しいことから、やぶれかぶれの人工物利用も起きやすいのでしょうか。この先もお気づきのことがありましたらお早めに役場へお電話ください。

topic 02 標識装着2頭目成功！

酪農学園大学の伊藤ゼミは10月7日の今期1頭目（メス成獣）に続き、11月3日に2頭目の生捕りに成功。電波標識を装着して放ちました。こんどはオス成獣で、いっそう広い行動圏を描くものと予想されます。約1年間の調査ののち、標識を外して回収する計画です。11月半ば時点で2頭とも冬眠穴に入った可能性があり、状況確認中です。研究成果はヒグマミーティングなどでご紹介してまいります。



地域の皆さまにご協力いただき作業完了!

topic 03

ヒグマミーティング 今年度もやりましょう！



この冬も、住民の皆さまと催すヒグマ勉強会「ヒグマミーティング」を開催したいと思います。これから日時や場所、実施内容を決めてまいります。ご要望やアイデア、ボランティアスタッフのお申し出、進捗のお問い合わせ等々なんでもお待ちしております!!

